

個別施策Ⅱ－（２）

安心して子育てができる環境をつくる

重要業績評価指標（KPI）

指標名	単位	実績値					目標値
		計画策定時	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
保育園等の待機児童数	人	0	0	32	34		0
放課後児童クラブの受入可能児童数	人	1,127	1,129	1,098	1,131		1,466

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- 地域の人たちが助け合い、一時的、臨時的に育児援助活動の支援をするファミリーサポート事業の実施により、仕事と育児の両立等子育てがしやすい環境づくりを推進しました。
- 市外から転入し市内民間保育所へ就職した3名の保育士に対し、雇用する法人を通して貸し付けを行うとともに、市内民間保育所等に対し、障がいのある子ども等の受け入れ体制の充実に資する運営費などの一部助成を行うことで、入所児童の処遇向上と地域間の均衡の確保を図りました。
- 平成30年度完成に向けて、高村保育園増改築及び花水台保育園に替わる新園の整備を支援しました。
- 現吉沢公民館敷地内に公民館、認定こども園を整備するにあたり、庁内研究、地元説明を重ね、敷地測量を実施しました。
- 利用児童数が増加した放課後児童クラブを分割し2クラブを増設するとともに、2クラブを小学校余裕教室を整備のうえ移設しました。
- 中学卒業までの入院及び通院の医療費助成を行うことで、子どもの健全な育成と健康の増進を図りました。

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<ul style="list-style-type: none"> ●ファミリーサポート事業において、支援会員数を増やすことが必要です。 ●施設運営費等の助成について、教育や保育の質の向上による児童の処遇改善、保育士確保や保育士の就労環境の向上及び高まる保育需要に対応していく必要があります。 ●保育所施設の老朽化や待機児童解消のため、状況に応じた的確な対応が必要です。 ●吉沢公民館の建て替えに向けて、早期整備に取り組む必要があります。 ●各地区の学童保育に対するニーズの状況に基づき、分割等の手法による施設の充実及び利用児童の安心・安全を確保していく必要があります。 ●小児医療費助成について、効率的かつ安定的な制度運営を進め、子どもたちの健康増進を図る必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●支援会員の研修等の充実とともに積極的なPR活動を行うことにより、支援会員数を増やします。 ●保育所の自主的で柔軟な施設経営を促進し、入所児童の処遇向上と地域間の均衡の保持を図るために、民間保育所に運営費を助成します。また、届出保育施設に対し児童健康診断受診料等を助成します。 ●定員拡大を伴う施設整備の支援を行うとともに、入所児童の安全、衛生面等の生活環境の改善のため、小規模修繕を実施します。 ●円滑な建設工事・造成工事に向けて、庁内や地元調整を重ねながら、基本設計・実施設計、地質調査を進めます。 ●利用児童の安心・安全な保育環境の確保のため、公的施設への移設を進めるとともに、利用児童数の増加等の動きを注視し、必要に応じて既存の放課後児童クラブの分割等を進めます。 ●医療費の増加抑制のための啓発を行うとともに、県内各市の制度改正の動向を注視しながら、中学校修了前までの子どもに対する医療費の助成を行います。
関連する【取組】と（事業）	
<ul style="list-style-type: none"> 【一時的・臨時的な育児支援活動を行うファミリーサポートセンターの運営】（ファミリーサポート事業） 【民間保育所等に運営費等の一部を助成や入所児童の処遇向上】（民間保育所助成事業） 【民間保育所等の施設整備等に係る経費の助成】（民間保育所施設整備支援事業） 【幼児教育・保育の一体的な提供及び地域における子育ての支援】（吉沢地区地域交流・子育て支援拠点づくり推進事業） 【利用ニーズ（実質利用児童数）に応じた放課後児童クラブの設置】（放課後児童健全育成事業） 【子どもの通院、入院時の医療費の助成】（小児医療費助成事業） 	

